

学校図書館支援だより

令和2年11月2日(月)
第6号 益田市教育委員会
Tel31-0445 Fax24-1380

学校図書館活用教育研修会を実施しました



10月21日(水)に益田市教育委員会主催の「学校図書館活用教育研修会」を実施しました。例年は、7~8月に実施していた本研修ですが、今年度はコロナ禍での夏休みでしたので、時期をずらして実施しました。

研修では、講師として、島根県立図書館 島根県教育庁 教育指導課 高麗美保指導主事をお招きし、「学校図書館活用の意義」について理解を深めるとともに、図書館を活用した授業について考える機会となりました。

「子どもが自ら学ぼうと思わせるにはどうしたらよいか」は、子どもたちと一緒に学習をする上での課題です。高麗先生からは、子どもたちに、興味・関心を持たせるための一つの手段として「図書館活用」があることを教えていただきました。

演習においては、学校司書さんの資料に関する情報をいただきながら、図書館を活用した授業づくりの計画をしました。グループワークを控えての研修でしたので、受講者のみなさんにとっては少し寂しい面もあったと思いますが、子どもの姿を思い浮かべながら、熱心に計画をたてておられました。実際にどんな授業が各校で行なわれるのか楽しみです。

受講された方の感想より

司書さんと相談できたり、他の学校の先生の実践例を見たいことができ、勉強になりました。今後の実践に生かしていきたいです。

図書とタブレットをどのように両立させ活用していくと良いのかについて研修したいです。

学校における図書館の大切さを改めて知ることができました。昼休みの30分、1時間ですが、これからも子供たちによりとってやっていきます。

学校図書館活用教育事業に係る公開授業【第2回】 ～益田中学校～

10月14日(水)に、益田中学校において公開授業が実施されました。今回は、第1学年 社会科(地理的分野)「世界の諸地域 ヨーロッパ州」の授業でした。

子どもたちは、学校図書館司書と連携し準備されたたくさんの図書資料から、EUの諸政策のメリットとデメリットを情報カードにまとめていました。本時では、それをもとに、今後EUが重視して取り組むべきだと思うことをランキングで表すという学習活動が中心でした。これまでに調べたことや学習したことから考え、どうしてそのランキングになるのか、一生懸命説明しようとする子どもたちの姿を見ることができました。EUの課題についていろいろな立場から考えることで、多面的・多角的なものの捉え方ができるようにさせたいという指導者の思いが伝わってきました。「今日の授業」が子どもたちにとってのちにどんなふう生きてくるのだろうかという視点で考えたとき、授業の大切さを改めて感じる事ができた一時間でした。



学校司書さんからの(9月)活動報告より

(図書委員のおすすめの本をろうかに展示しおもしろかった本に金シールをはるそうです・・・)

昨年度も行った図書館パスルを行います。おすすめの本の紹介など、来館が楽しみになるような工夫をしていきたいです。



普段図書館にあまり来ない子が、ろうかで立ち読みをしている姿を見ました。目につくところに展示してあると、手に取る機会も増えていいなと思いました。



9月は行事が多く、秋の読書週間の準備など予定より遅れてしまった感じですが、生徒の読書利用の際、話をするこももあり、いろいろなアイデアを出してもらったり、作業を手伝ってもらったり協力してもらおうと考えています。

